

「前例を超える・前例を創る」
～専門職として、ジャーナリストとして、そして、つらい経験から」

国際医療福祉大学大学院 乃木坂スクール
2021年7月8日

「前例を超え・創る」を本にする

(仮)「障害があるからおもろかった

～GREAT DREAMAR 谷口明広」

社会福祉法人すてっぷ

創始者・前理事長 鈴木隆子

1

車いすに乗った谷口明広先生ものがたり ー自立生活に向けての軌跡とメッセージー



国際医療福祉大学大学院
医療福祉ジャーナリズム分野
修士2年 鈴木隆子 18S2031
指導教員 大熊由紀子教授
副指導教員 水巻中正教授

2

私とすてっぷと谷口さん

おもちゃ図書館
きしゃぽっぽ
ボランティア



OPEN HOUSE
すてっぷ 代表



社会福祉法人
すてっぷ理事長

1981



1986～



1991～
ノーマライゼイ
ションをめざして



2000～
わーくはうすすてっぷ開所
ふつうに働く
ふつうに暮らす
ふつうに楽しむ



谷口さんとの
出会い

1993
とっておきの
芸術祭



1999～
理事就任



2016.1.24
逝去



理事会
職員研修
講演会

3

障害と共に生き「社会を変えたい」と生きた 谷口明広先生

1956 京都市で出生

重症黄疸で脳性麻痺になる

1964 大阪府立堺養護学校入学

1976 桃山学院大学入学

1981 同志社大学大学院入学

1982 パークレーCIL研修

1983 一人暮らし開始

1984 修士課程修了

ニースはチーズ!
君たちは国家公
務員です!
私の最高のパー
トナーは障害や!



1985 障害者自立生活問題研究所設立

1994 『自立生活は楽しく具体的に』出版

2004 愛知淑徳大学教授

2005 『障害をもつ人たちの自立生活とケアマネジメント』
出版

2015 『障害のある人の支援計画』共著出版

2016.1.24逝去



4

自立とは

伝統的な自立観

経済的、職業的な面での自立、または非依存、介助不要という意味での自立。

障害者のリハビリテーション＝訓練を正当化、施設収容主義を正当化。

新たな自立観としての自立生活思想

自立とは自己決定である。

同時に、自分で決めたことの責任も障害者が負うということの意味しており、当然、失敗したり危険を冒したりする権利もこの自立の考え方には込められている。



*エド・ロバーツ 「依存による自立」

衣服の着脱に1時間を要するものがあるとすれば、その人に対して介護人を派遣して10分で着脱を終わらせ、残りの50分をより人間的に有意義な時間を作り出していくようにする。

5

研究目的

谷口さんの59年の足跡を伝記にまとめ、障害をもつ人の自立生活実現のためにどのような当事者アドボカシー活動をしたか明らかにする

〈メッセージ〉

- ・自立して生きることの大切さと喜びを伝える
- ・重度の障害があっても自分で選択し、自分で決めて、自分の人生を生きることができる。

〈読者〉

障害をもった人
家族

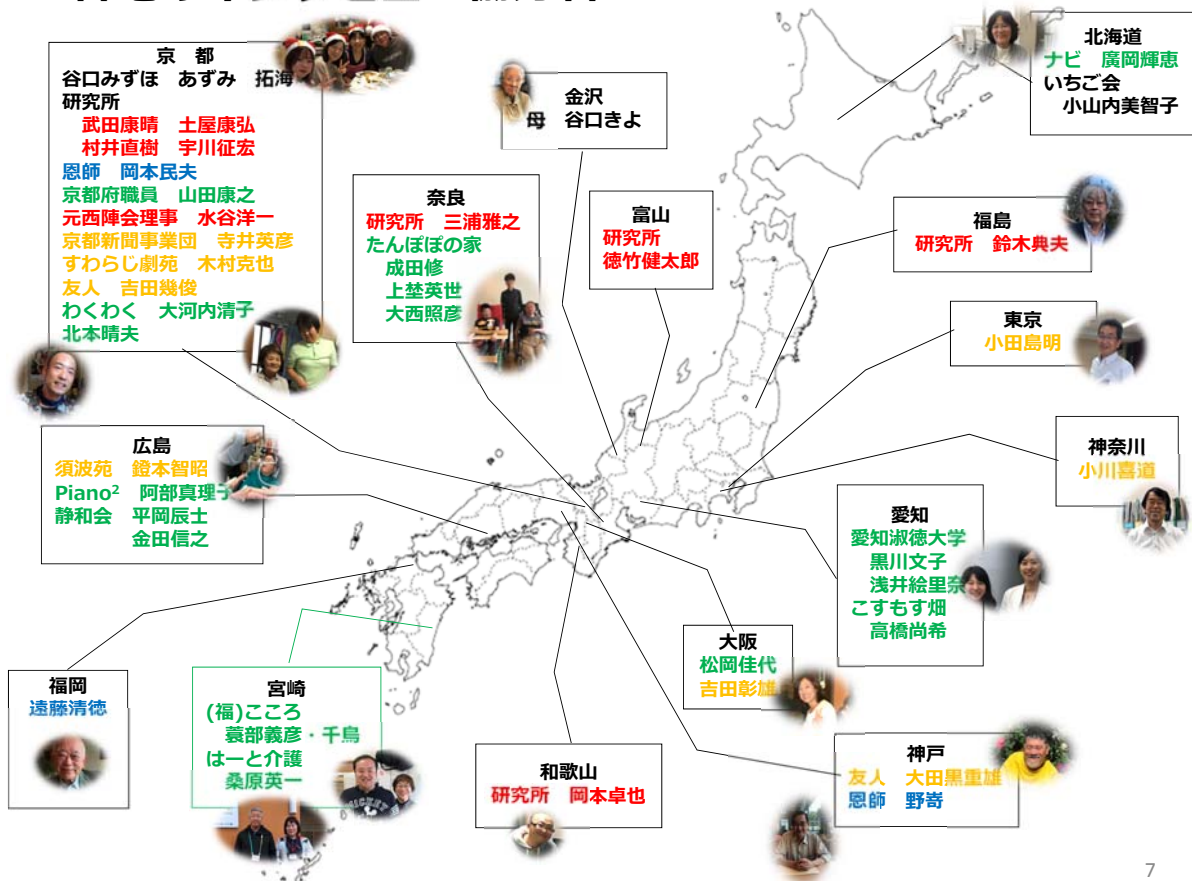
⇒自分の人生を肯定し幸せな人生を送ることができるようになる

障害をもたない人

⇒ 人生を見つめなおすきっかけとなる
障害や自立への理解が深まる

自分と違う個性を認めあえる、誰もが夢をもって暮らせる共生社会の実現につながる

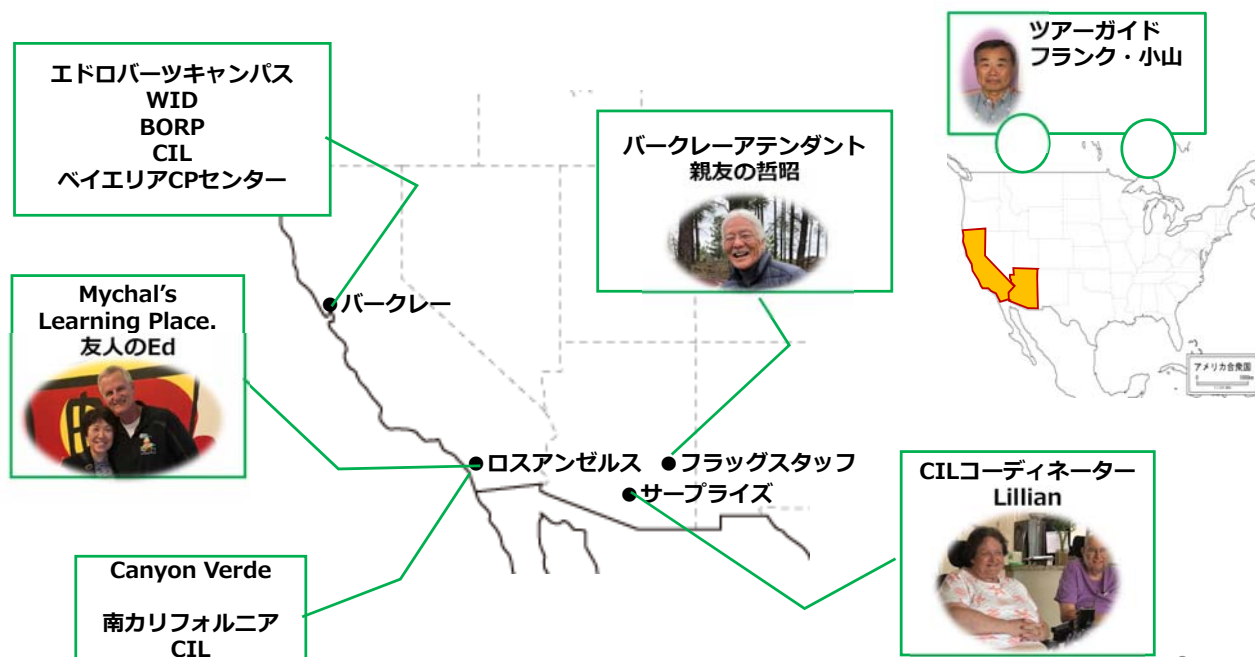
各地のインタビュー協力者



7

アメリカのインタビュー協力者と視察先

5/6～13 バークレー留学時代の足跡をたどるインタビュー&
「谷口明広と行くアメリカ研修ツアー」視察先を訪問



8

課題研究作品の紹介

はじめに

夢を実現させるための九ヶ条

- 1.自分のことは自分自身でかんがえろ
- 2.好きなことを勉強しろ
- 3.どんなことでも良いから得意技を持て
- 4.できるだけ上手に他人を使え
- 5.自分自身を大好きになれ
- 6.とてつもない大きな夢をもて
- 7.ひたすら願え
- 8.しつこく、しがみつけ
- 9.感謝しろ



9

1章 生い立ち

1956 京都市で出生

重症黄疸で脳性麻痺になる

1964 大阪府立堺養護学校入学

1976 桃山学院大学入学

1981 同志社大学大学院入学



3～4か月の頃



歩行器で移動



大学時代の友人

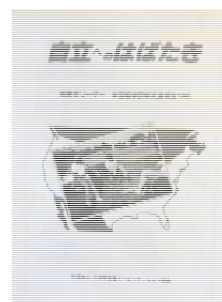


養護学校の同級生
谷口 種村 太田黒

10

1982年 アメリカバークレーCIL留学

ミスタードーナツ障害者リーダー米国留学研修2期生としてバークレー自立生活センター(CIL)アテンダント・ケアの窓口で6か月間の実習。
自立生活(IL)概念とケアマネジメントを学ぶ



1990年WID エド・ロバーツと再会

エドロバーツの教え

「行政と喧嘩するな。そこにすごくエネルギーを使うのだったら、**一緒に協調しながら仕組みを作って行け。**」

「依存による自立」

衣服の着脱に1時間を要するものがあるとすれば、その人に対して介護人を派遣して10分で着脱を終わらせ、残りの50分をより人間的に有意義な時間を作り出していくようにする。

11

人生の転機

障害をもつ人々から学ぶ
自分の障害を好きになる！



パーマをかけた

障害をもっていてどうして悪いの
障害をもって生きるということは、誰にも経験できないことを体験している、貴重なこと。

障害が重度、軽度というのはばかばかしい。

障害があろうとなかろうと本当に楽しいことはいっぱいやろう。

*自らもアテンダントを雇って自立生活！
*てっちゃんと一緒にロックバンドの追っかけ、青春を謳歌した！



親友のてっちゃん

12

2章 自立生活は楽しく具体的に

- 1984 修士課程修了
一人暮らし開始 アテンダント制度実践
- 1985 障害者自立生活問題研究所設立
- 1988 同志社大学大学院博士課程入学
- 1993 結婚
- 1994 『自立生活は楽しく具体的に』出版
- 2005 社会福祉学博士(同志社大学)取得
『障害をもつ人たちの自立生活とケアマネジメント』出版



13

最高のパートナーみずほさん



1993年 結婚



子供が生まれました
あずみと拓海です

講演でよく子供たちの話をしていました

2007年 七五三



神奈川から自立教室の教え子が駆け付けました

14

5分間の奇跡 谷口先生にしかできない!



当事者に 「障害があって何が悪いのですか、きらきら光る人になってください。」

お母さん 「子供の自立を応援してくださいね。」

支援者に 「夢のある、楽しい支援計画を作ってください。」

障害をもつ人や家族をエンパワメント

京都新聞社会福祉事業団とのコラボ



釣り体験北本晴夫



大河内清子



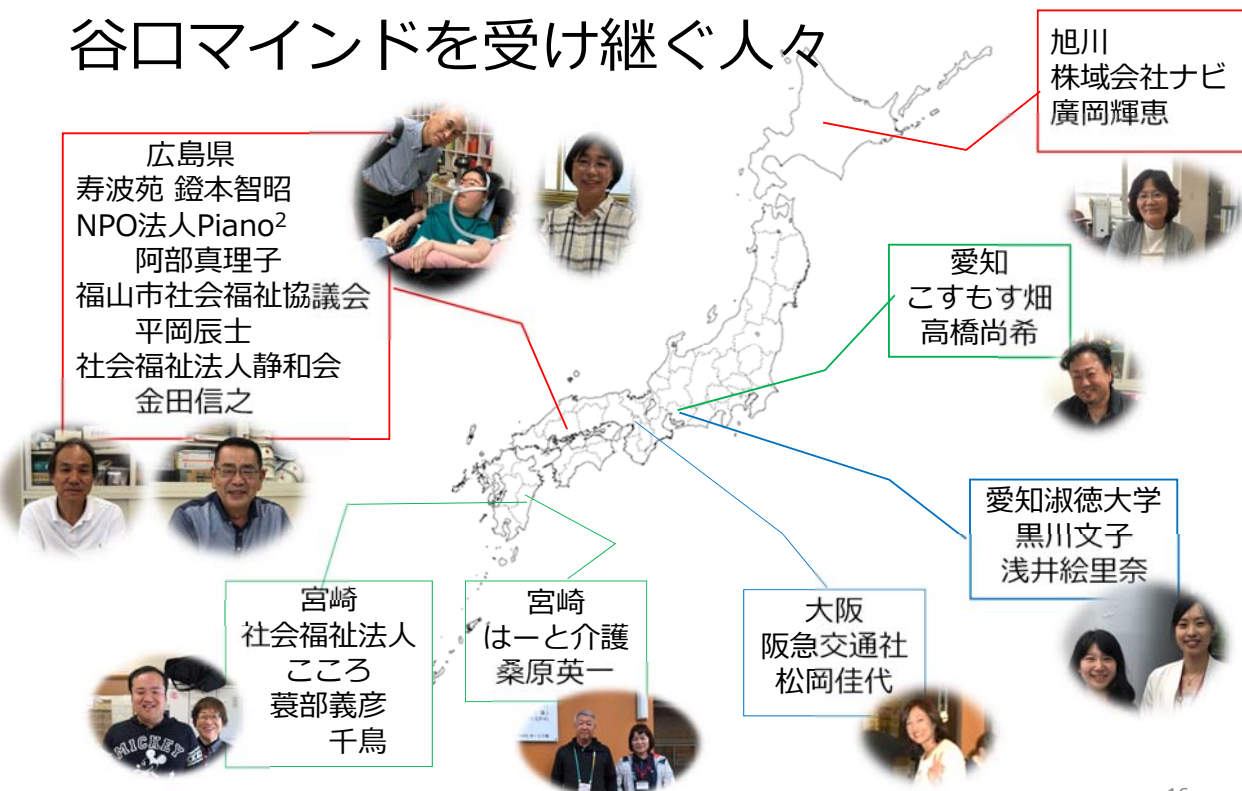
たんぽぽの家
成田・上埜・大西



15

3章 谷口さんの足跡を訪ねて

谷口マインドを受け継ぐ人々



16

行政職員と協力 地域福祉施策作りに貢献

2003年 京都地区障害者施策推進協議会副委員長

2004年 京都府参与障害者自立支援計画
(アクションプラン)担当



2003年「京都府シティグラ2003」
京に吹く風コーナーで紹介される

行政と当事者の橋渡しをし
てくださった。

できないこと探しではなく
ワクワクしたプランを!

明るくポジティブな共生社
会を作りたい



京都府健康福祉部
山田康之

17

2004年 愛知淑徳大学 医療福祉学部 福祉貢献学科 教授



2009.3.19 卒業式

「障害者であっても、健
常者であっても、自立の
ためには努力を重ねなけ
ればいけない。」

「先生はいつも全力でし
た、研究も、教育も、楽
しいことも。」



谷口先生独自の科目
地域生活支援サービス論 社会福祉時事問題論
福祉対象者とセクソロジー マイノリティ運動論

18

4章 人生は楽しく夢をもって

研究所ファミリー
恒例行事



クリスマス会



祇園祭り



身体に障害をもっているということを大切に生きていきたいいな、といつも思っています。



大人になって
できた親友



楽しいことは何でも
チャレンジ

19

インタビューを終えて

障害をもっているからと、遠い山の中の施設で一生暮らさなければいけない人がいる。

障害があって働けないから生きる価値がないと言われる人がいる。

障害があるから自分は何もできないと思っている人がいる。

それを「当たり前」と思う人や社会を変えることが谷口さんの大きな夢でした。



20

出版への道のり

- 2020.6 ゆきさんの縁結びで
『(株)クリエイツかもがわ』から出版決定
- 2020.7 奥様・武田さんに出版について報告(京都)
- 2020.8 第1回編集会議開催(京都) 武田さん参加
- 2020.11 座談会開催 (ZOOM利用)
武田さん・小川先生・小田島さん・鎧本さん
- 2021.3 座談会「唯一無二の人 谷口明広」原稿仕上がり
座談会をもとに構成を変更
- 2021.5 新谷口さん原稿提出
- 2021.6 第16回編集会議

※最終原稿提出後3か月で出版



21

本を書くことで見えてきたこと

逆転の発想で前例を超えた谷口さん

- ・障害があっても何が悪いのですか？
- ・私の最高のパートナーはこの障害や
- ・君たちは国家公務員です
- ・トイレマップから食マップへ
- ・歩行リハビリより車いす生活
- ・介助は頭脳労働です

九ヶ条は自分へのエール

- ・自信はないけど『チャレンジ精神』で『あきらめず』に目標に向かって『努力』した。
- ・剣が峰を生きていた

家では普通のパパ ところが凄い!!

- ・介助者ではなく妻になります!
- ・奥様のインタビュー「普通の家庭と同じです」

22

課題研究と本の目次を比較

課題研究の目次

車いすに乗った谷口明広先生ものがたり
—自立生活に向けての軌跡とメッセージ—

1. 生い立ち
2. 自立生活は楽しく具体的に
3. 足跡を訪ねて
4. 人生は楽しく夢を持って
5. また、障害者の歴史が終わった
6. 谷口さんを訪ねる旅を終えて

本の目次

(仮)障害があったからおもしろかった
—GREAT DREAMER 谷口明広—

1. 障害があるからこそできる!
2. 差別されて大学院へ
3. 当事者であり研究者
4. 最高のパートナーと普通の家庭
5. 谷口さんってどんな人?
インタビューで足跡をめぐる
6. 唯一無二の人
7. 不自由だけど誰よりも自由!!
8. おわりに

23

(仮)障害があったからおもしろかった ～GREAT DREAMER 谷口明広

対象とする読者:

社会生活にハンディを感じて
いる人

キャッチコピー:

年間300回の講演活動、おもしろい
谷口先生の感動物語

説明:

2016年1月に59歳で急逝した愛知淑徳大学教授谷口明広さんの伝記です。重症黄疸により脳性麻痺となり車いすの介助生活になりましたが、夢に向かって前向きに生きる姿勢とユーモアあふれる話で人気爆発、全国から講演に呼ばれました。

障害を味方につけて夢を実現した谷口さんのメッセージとおもしろいエピソードが詰まった本です。

『すべての人の胸に夢を』谷口さんの思いが届きますように。



私の作った『夢を実現させる
九ヶ条』知ってますか?

24

ご清聴ありがとうございました

谷口明広さんのメッセージを皆さんに
届ける本になることを願っています。



「この本を読んで、勇気が湧いてくるのを感じてもらいたい、それが私の願いです。」
小学館学習まんが人物伝スペシャル レーナマリア